

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公開番号】特開2020-191308(P2020-191308A)  
 【公開日】令和2年11月26日(2020.11.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-048  
 【出願番号】特願2020-142404(P2020-142404)  
 【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 S 8/04 (2006.01)

F 2 1 S 8/00 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 3 1

F 2 1 S 2/00 4 3 4

F 2 1 S 2/00 4 3 7

F 2 1 S 2/00 4 3 3

F 2 1 S 8/04 1 0 0

F 2 1 S 8/00 1 0 0

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月8日(2021.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

青空を模擬する拡散光と、太陽光を模擬する光とを照射する照明器具であって、  
 散乱により前記光よりも相関色温度の高い拡散光を発生させる拡散部を備えるとともに

、  
 前記拡散部の伝搬光を反射する反射面、および、光を透過して散乱させる光散乱部の少  
 なくとも一方を備え、

前記拡散部によって発生された前記拡散光により、青空を模擬し、

前記反射面によって反射された前記伝搬光、および、前記光散乱部によって拡散透過さ  
 れた光の少なくとも一方により、太陽光を模擬する

ことを特徴とする照明器具。

【請求項2】

前記拡散部に光を入射する入射面を含み、

前記入射面は、前記拡散部の端部または前記拡散部を含む拡散体の端部に形成される

請求項1に記載の照明器具。

【請求項3】

前記入射面は、前記拡散部の2つの端部または前記拡散体の2つの端部にそれぞれ形成  
 される

請求項2に記載の照明器具。

【請求項4】

前記入射面は、前記拡散部と別部品で形成されている

請求項 2 または 3 に記載の照明器具。

【請求項 5】

前記拡散光を出射する出射面を含み、

前記出射面は、前記拡散部または前記拡散部を含む拡散体の板形状の 1 つの面の上に形成される

請求項 1 から 4 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 6】

前記反射面は、前記拡散部と別部品で形成されている

請求項 1 から 5 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 7】

前記伝搬光を導光する導光部を備える

請求項 1 から 6 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 8】

前記導光部は、前記拡散部または前記拡散部を含む拡散体の端部に形成されている

請求項 7 に記載の照明器具。

【請求項 9】

前記導光部は、前記拡散部と前記反射面との間に位置している

請求項 7 または 8 に記載の照明器具。

【請求項 10】

前記導光部は、前記拡散部と別部品で形成されている

請求項 7 から 9 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 11】

前記光散乱部は、前記反射面で反射された光を透過して散乱させる

請求項 1 から 10 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 12】

前記光散乱部は、前記拡散部を含む拡散部と一体で形成されている

請求項 1 から 11 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 13】

前記光散乱部は、前記拡散部を含む拡散部と別部品で形成されている

請求項 1 から 11 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 14】

前記光散乱部に向けて光を出射する光源を備える

請求項 1 から 13 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【請求項 15】

前記光散乱部は、凹凸形状の光拡散面、レンチキュラーレンズおよび光散乱粒子のうちの 1 つ以上を含む

請求項 1 から 14 のうちのいずれか 1 項に記載の照明器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本開示に係る照明器具は、青空を模擬する拡散光と、太陽光を模擬する光とを照射する器具であって、散乱により前記光よりも相関色温度の高い拡散光を発生させる拡散部を備えるとともに、前記拡散部の伝搬光を反射する反射面、および、光を透過して散乱させる光散乱部の少なくとも一方を備え、前記拡散部によって発生された前記拡散光により、青空を模擬し、前記反射面によって反射された前記伝搬光、および、前記光散乱部によって拡散透過された光の少なくとも一方により、太陽光を模擬することを特徴とする。